



外国出張報告書

平成 27 年 7 月 14 日

1. 出張国名 モザンビーク、ガーナ
2. 出張月 平成27年5～6月
3. 出張目的 1) ナカラ回廊の農家圃場試験参加農家の記帳簿のモニタリング（ナカラ回廊3）：A
 2) 実証調査対象村の稲作に関するベースライン調査等（稲作普及促進）：B
4. 成果の概要
 - 1) ナカラ回廊の農家圃場試験サイトの参加農家を対象に、意思決定支援モデル構築のための最適な営農体系（作付規模関係）の予測に必要なデータ収集の一環として、農家記帳簿のチェックと調査票調査を IIAM 研究者（社会経済 CP）と協力しながら進めた。農家記帳簿は概ね正しく記入されていたが、未記帳の圃場や作業が散見された。調査票調査では、未だ収穫や販売が完了していない作物、圃場（雨季作）が多いため、その他の必要なデータ（世帯構成、作物別自家消費量、乾季作の収益・労働時間、農業以外の生業時間、年別作物収量・価格など）を収集した。
 - 2) タマレ近郊の内水面養殖に関する情報収集、事例調査を実施し、実証調査サイトの子池で養殖を実施する場合の主要な課題を抽出した。実証調査サイトでは、子池管理委員会と参加農家を対象に、子池やポンプ、灌漑水・施設の利用や維持管理にかかる説明・意見交換会を開催し、基本方針を決定した。また、実証圃場における稲作の作業歴を記録するための作業日誌の説明会を、参加農家を対象に実施した。